吉本慎太郎 委員

動画でチェック

◆敬老金等支給費について

Q 小松市敬老金条例の改正により、敬老金等支給費が減額されている。高齢者福祉施策のシンボルであり、長寿を祝い、敬老の意を表するこの手厚い制度を見直す必要はあるのか。再考を。

A 時代の変遷により高齢者を取り巻く状況が変化する中、敬老金本来の趣旨を尊重することに変わりはない。しかし、歳出の見直しは必要であり、市民の皆さんから頂いている貴重な税金を財源として、政策展開を図っていきたい。

高野哲郎 委員

動画でチェック

◆自治体ライドシェア運行費

Q 本会議初日議決分の運行実績・反響は。

A 20件、延べ43名の利用。アンケート調査では高評価をいただいた。

Q 新年度分4,400万円の内訳は。

A アプリシステムの使用料等1,440万円など。

Q 登録されているドライバーの人数は。

A 登録者4名、登録手続中6名、応募者10名の計20名。

Q 小松市職員も講習を受ければドライバーとなれるそうだが、業務命令という形はないのか。

A 業務命令ということはない。

◆職員の働きがいのある職場に向けた取組

Q どんなところに外部委託するのか。

A ハラスメント対策は、相談窓口の設置、ハラスメント調査等を行うことができる事業者に委託予定。

Q 委託の必要性を考えた理由は。

A 多職種の多様なケースに公平公正、厳正に対処し、ハラスメントを排除するため。

小松志士の会

濵口淳也 委員

動画でチェック

◆戸籍情報管理システム運営費

Q 管理システムの主な内容は。

A 令和6年3月に運用開始した広域交付に対応したものであり、戸籍の証明書が、本籍地以外の市区町村窓口で取得可能となった。これにより利便性が向上したものである。

◆産業振興支援費

Q DX推進伴走支援モデル事業としての予算で行う事は。

A 市内企業のDX推進を図るため、専門家による伴走型支援を行い、企業のDX化に向けた取組を後押しするもの。

宮西健吉 委員

動画でチェック

◆都市計画道路調査費について

Q 新規整備路線として今江三谷線の未整備区間450mがある。これが整備されると外環状道路が完成する。小松基地から305号線、8号バイパスまでつながる。問題は踏切。今江町は6,000人の町であり、2040年ビジョンでは今江駅が計画されている。踏切をオーバー、アンダー、フラットどうするのか。今江校下の発展が本市の発展にもつながる。検討してほしい。

A ビジョンにイメージがあるので、新駅のことも承知した上で、まずこの外環状道路を完成させたい。将来的なビジョンについては、鉄道事業者としっかり協議を重ねていくが、なかなか難しく、時間を要する。

自民党こまつ

吉村範明 委員

動画でチェック

◆高機能消防ポンプ車購入費について

Q ポンプ車の導入目的は。

A 時代とともに新たな化学車性能を有する高機能の消防ポンプ車の配備が必要となった。

Q 性能と現行車両との差異は。

A 新たな性能として圧縮空気泡消火装置「キャフス」を搭載。消火能力の向上や早期鎮圧に有効で4輪駆動型。現場到着後の活動が迅速化する。

Q 密集地火災の対応は。

A 密集地警防計画の見直しを図り、訓練の充実と最新の消防車両や資機材を整備していくとともに、官民一体となった防火防災対策も推進していく。

Q 消防長が考えるこれからの消防体制は。

A 消防訓練の精度を高め関係機関と広域的な連携を強化、迅速かつ的確に任務を遂行できる強力な消防体制を構築していく。

川崎順次 委員

動画でチェック

◆市民センター改修費

Q 大ホールの改修内容は。

A 舞台照明のLED化、天井の軽量化による耐震化等。

Q 老人福祉施設はつらつセンターの改修は。

A バリアフリー化等、老人福祉施設での必要な機能を有する改修を行ってきた。

Q 老人クラブの会員の方から手紙を頂いた。今回の千松閣の廃止に伴う老人クラブ連合会から市議会に提出された請願について、三役会で決定されたもので大変残念だ、地滑りの影響等もあり使用できなくなったが再築を請願することは性急過ぎる、再築には多額の費用が必要で子や孫の世代に負担させたくないと書かれていた。代替施設としてはつらつセンターやせせらぎの郷の整備を。

A 両施設は、千松閣とおおむね同様の機能を既に有しており、千松閣が休止以降、一定程度、代替施設として利用が進んでいると考えている。また、民間にも類似サービスが充実してきており、官民を含めた既存施設の有効活用を図っていくことが一番よいと判断している。娯楽機能など、必要に応じて機能の付加を検討していきたい。

◆中消防署西出張所整備費

Q 津波にも安心できる消防署であってほしい。

A 津波警報が発令された際、隊員の安全と車両や資機材を確保した上で、管轄区域を中心として救助活動や消火活動を展開するとともに、地元分団と連携し、津波の警戒パトロールや避難誘導等の活動を行う。

無　会　派

橋本米子 委員

動画でチェック

◆令和6年度小松市国民健康保険事業特別会計予算

Q 賦課限度額102万円から104万円になる対象者の所得と世帯数は。

A 約1,000万円の高所得世帯で、約130世帯、全体の1％程度が賦課限度額に達する見込み。

◆後期高齢者医療特別会計予算

Q 令和6・7年度の保険料の引上げが大きい。平均保険料額は。

A 1人当たりの平均保険料額は年額6,873円増加となる。

常任委員会　審査報告

予算決算常任委員会

議案第1号　令和5年度小松市一般会計補正予算（第9号）について

■自治体ライドシェア運行費（3,600千円）

夜間のタクシードライバー不足を補完するため、一般ドライバーが有償で顧客を送迎する自家用有償旅客運送を全国に先駆けて実施するもので、アプリ改修やコールセンター運営委託に係る費用です。市が事業主体となり、運行管理や車両管理は小松地区タクシー協会へ依頼する予定とのことです。

小松市として初めての取組であり、今後、事業の経過を注視していく必要があることから、試運行の結果や課題について報告を求めました。

議案第2号　令和6年度小松市一般会計予算について

■防災体制強化費（28,000千円）

避難所の非常食や衛生用品の定期更新、土砂災害ハザードマップの更新、こまつ防災アプリの使用料、防災士養成講座受講料の負担金、コミュニティ助成事業に係る補助金に係る費用です。

防災士について、災害時に体系的な対応ができていない地域もあるため、組織化に向けた支援の検討を求めました。また、避難所空調の早急な整備や備蓄品の適正な配置、こまつ防災アプリの更なる機能アップ等の検討を求めました。

■自治体ライドシェア運行費（44,000千円）

小松市ライドシェア運行にあたり、AI配車システム使用料、運行管理・車両整備、ドライバー研修、マップ・決済システム使用料、コールセンター委託、ドライバー管理業務等に係る費用です。

初日議決時の説明から変更となった内容やドライバー募集などについて、議会への事前説明が不十分であるとの意見がありました。また、今後の公用車の使用を含め、その都度、委員会への報告を求めました。

■医療的ケア児保育支援費（22,000千円）

保育所等における医療的ケア児の受け入れ体制の整備に係る費用です。

医療的ケア児の受入施設は増加していますが、園バスでの送迎を行うなど保護者に寄り添った支援を求めました。

■敬老金等支給費（13,800千円）

88歳と100歳の高齢者に対する敬老金及び80歳の高齢者への記念品の支給費です。

一部の委員から、敬老金条例が改正された場合に対象外となる、99歳への各5万円と101歳以上への各3万円の支給額が、事業費に予算計上されていないことに反対する意見がありました。

■こども預かりサービスステーション費（16,000千円）

出勤時に子供を預け、帰宅時にお迎えできる「子ども預かりサービスステーション」をカブッキーランド内に新設する費用です。

■民生児童委員活動費（19,900千円）

民生委員児童委員活動及び活動団体運営に係る費用です。

民生委員児童委員の成り手が不足していることから、活動内容の明確化や待遇面の改善等対策、福祉推進委員の充実など、さらなる民生委員のサポート体制の強化を求めました。

■公衆浴場活性化推進費（9,600千円）

家族ふれあい入浴事業補助金、湯ったりシニアふれあい入浴事業委託等に係る費用です。

湯ったりシニアふれあい入浴事業について、対象の浴場が増えるような働きかけを求めました。

■小学校校舎等改修費（226,150千円）

能美小学校・国府小学校・木場小学校の空調復旧等に係る費用です。

外部電源やガスヒートポンプなど災害に強い学校づくりを検討していくよう求めました。

■学校給食運営費（304,651千円）

市内小中学校、義務教育学校29校の学校給食調理業務の外部委託に係る費用です。

一部の委員から、学校給食は公教育の一環であることから、民間委託することに反対する意見がありました。

■日本遺産振興費（10,030千円）

新年度新たに実施する那谷寺の国名勝や重要文化財建造物調査費用のほか、九谷焼ガイドの育成、教育コンテンツの造成費、構成文化財の環境整備、拠点地域の活動支援などにより、日本遺産の知名度向上や地域の活性化を図る費用です。

那谷寺の調査成果については、観光資源としても活用してほしいとの意見がありました。

■修景公園管理費（110,385千円）

都市公園85箇所、その他公園101箇所における維持管理費等です。

問屋第一公園ドッグラン整備工事については、ドッグラン施設に併せ、イベント開催や人流創出に期待するものであり、地理的条件やニーズに合わせた良い公園となるよう整備してほしいとの意見がありました。

■強い農業ひとづくり支援費（8,300千円）

中山間地域の農業機械の更新や、スマート農業機械の購入支援費等です。

新商品の開発や販路拡大について、今後も積極的に支援してほしいとの意見がありました。

議案第8号　令和6年度小松市水道事業会計予算について

■投資有価証券の取得（100,000千円）

積立金の効率的な運用を図るため、これまでの定期預金での運用に加え、新たに国債等を購入するものです。

地方公共団体の資金運用先は、慎重に選定してほしいという意見や、積立金の残高、政策金利や債券の利回り等の状況を考慮した上で投資額の増額について検討してほしいという要望がありました。

議案第9号　令和6年度小松市下水道事業会計予算について

■未普及解消費（490,100千円）

事業認可や管きょ実施設計に係る委託料、工事費、下水道工事に係る支障移設補償費です。

その他の未普及地域を考慮し、出来るだけ事業実施のペースを早めていくことを検討するよう求めました。

■浸水対策費（502,000千円）

石橋川排水区導水路工事、雨水管理総合計画、内水ハザードマップ作成業務等です。

内水ハザードマップは、浸水による家や道路などの被害を減災するため、出来るだけ早く作成してほしいとの意見がありました。

議案第10号　令和6年度国民健康保険小松市民病院事業会計予算について

■職員の働きがいのある職場に向けた取組（15,000千円）

働きがいのある職場に向けたハラスメント対策業務、人事評価制度の構築や研修等実施に係る委託料です。

外部窓口の設置により職員が不利益を被らない働きやすい職場環境と専門家に安心して相談できる体制を構築していくとのことです。

総務企画常任委員会

■議案第40号専決処分の承認を求めることについて中　令和5年度専決第17号損害賠償の額を定めることについて

市道及び町道において、小松市防犯交通推進隊連合会隊員が白線ペンキを塗っていたところ、ペンキが乾かない間に相手方の車両がその上を通行し、当該車両にペンキが付着し損害を与えたものであり、相手方2名への合計392,931円の損害賠償額を定めるものです。

今後は速乾性のあるペンキの使用や注意喚起の徹底など再発防止の周知を行ったとのことです。

道路のことであり警察との連携が必要ではないかとの意見があり、今後、隊員の活動に支障が出るこ

とのないよう、警察と連携を密にして方法を協議し、推進隊へ周知していくとのことです。

■未来型図書館の整備に向けた基本的な考え方について

未来型図書館の整備に向けて、事業手法として、整備・運営を官民連携事業で実施する場合はDBO方式、またはPFI手法のBTO方式が有力と想定しているとのことです。

施設整備費の概算額としては約68億円と想定、Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を見据えた先進建築物、ZEB Ready（ゼブ・レディ）の対策を追加実施した場合は約75億円と想定、管理運営費として年約2億3千万円と想定しており、今後基本計画において詳細に検討していくとのことです。

駐車場については、不足が想定されることから、既存市役所駐車場に立体駐車場の整備を検討していくとのことです。採算性を含めた運営が課題とのことですが、車社会であることや周辺の駐車場は無料が多いことなどを踏まえ、料金・サービス体系のあり方について、ほかとのバランスを考慮して充分検討するよう求める意見がありました。

また、事業費や補助金など予算面は当然大切な視点ではありますが、その枠組みにとらわれすぎて中途半端な施設となることがないよう、良い施設を創るよう期待する意見がありました。

福祉文教常任委員会

■議案第25号　小松市犯罪被害者等支援条例について

本条例は、犯罪被害者等の支援に関し市と市民の責務を明確化し、法的な根拠を定めることにより、支援の取組や関係機関等との連携をしやすくし、市民が安心安全にくらし続けるまちづくりに寄与することが目的です。

2次的被害を防ぐため、市民にも犯罪被害者を守る配慮の必要性について周知し、理解を求めるようにとの意見がありました。

■議案第26号　小松市敬老金条例の一部を改正する条例について

敬老金条例は、長寿を祝い、敬老の意を表することを目的としたものです。現行条例において、88歳、99歳、100歳、101歳以上と定めている支給対象者について、改正条例では88歳、100歳とし、長寿の節目を祝う持続可能な事業にしていくとのことです。

まず、本案に賛成の理由として、さらなる超高齢社会に向け、様々な課題があり、高齢者施策を全体的に未来の展望を予測しながら考えていくことが必要との意見がありました。

また、令和8年度まで基金を活用して介護保険料を据え置くとのことであり、高齢者福祉施策を全体的に考えると見直しが必要であり、財政状態が改善されてから再び制度改正を検討することもできるとの意見がありました。

さらに、88歳以上の対象者数は年々増加しており、今後もさらなる増加が予想されるので、65歳以上の介護に予算を振り替えていくことも必要、祝い金の配布ではなく介護予防に注力していくべき、一部改正後も県内トップクラスの手厚い内容であるとの意見がありました。

一方、反対の理由としては、高齢者施策として、生きがいづくりは大きな仕事であり、本事業は、長寿の方すべてに等しく祝い金を支給する高齢者全員の生きがいを作る意義ある制度であり、100歳以上の高齢者の長生きを地域で応援したい、これまでも他市と比べて手厚い内容だからこそ大切にしたい、子育てだけではなく、高齢者施策もダントツの小松でありたいとの意見がありました。

また、高齢化の進展や高齢者施策全体を考慮して改正に至った経緯については十分に理解するが、他に見直す事業があるのではないかとの意見がありました。

賛成と反対の意見が多く出される中、軽々に判断できないという理由から、6月定例会を目途に継続審査を求める意見がありました。

これらの意見を踏まえ、委員会として、本議案を賛成多数で継続審査といたしました。

※本条例について、宮西議員、川崎議員から委員長報告に対する質疑がありました。

■議案第27号　小松市立老人福祉センター条例を廃止する条例について

千松閣は、施設・設備全体の老朽化や地盤リスク、利用者の減少等を踏まえ総合的に検討し、今年度末をもって閉館とするとのことです。

■議案第29号　小松市介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険法施行令の改正に伴う一部改正です。

本市では、第1号被保険者の介護保険料を据え置きとし、改正施行令による、低所得者保険料に対する公費軽減割合縮小等の影響を受けないよう、一部改正をするとのことです。

■請願第1号　老人福祉センター千松閣営業中止に伴う代替え施設設置の請願

本請願は、老人福祉センター千松閣閉館との報道を受け、小松市老人クラブ連合会より提出されたものであり、老人福祉センターの代替施設の設置を求めるものです。

当施設は高齢者の貴重な憩いの場であり、高齢者の活動の発信の場所であったとのことで、今後ますます増加する高齢者のコミュニケーションの場を確保するため施設の新設を請願するとのことです。

委員から施設新設は浴場等の民業圧迫につながり、公共施設マネジメントの観点から類似施設を代替とし修繕及び活用していくことが望ましいとの理由で採択に反対する意見がありました。

また、請願については、請願者の思いを市長に伝えることが本意であって、新設か修繕かという内容は、採択し、市長に提出した後話し合っていくことであると採択に賛成する意見がありました。

全会一致での採択が望ましい、請願者に請願趣旨を確認したいとの理由から継続審査を求める意見がありました。

この案件について、議論を重ね、慎重なる審査を行いました結果、賛成多数で採択すべきと決した次第です。

経済建設常任委員会

■議案第32号　小松市営住宅条例の一部を改正する条例について

概要として、1つ目は市営住宅として民間賃貸住宅の借上げを行い、公営住宅の借上げ住宅として適宜提供できるよう改正を行うものです。2つ目として、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部を改正する法律」（令和6年4月1日施行）に伴う改正を行うものです。

現行条例では、市営住宅の名称、位置等が別表で定められており、今後借上げ住宅を活用していくにあたって、借上げ市営住宅を入居希望者へ適宜供給できるよう、借上げ住宅の名称、位置については規則で定めるという、条例改正です。

現在の市営住宅の老朽化による取壊しなどで、引っ越しを余儀なくされる場合には、まずは既存の市営住宅を案内することや、その方の生活の形に寄り添い、住居を案内するようにしてほしいとの意見がありました。

■特定地域づくり事業協同組合制度について

令和2年6月に創設された国の制度であり、人口が急減している地域の人口流出の抑制を図ることを目的としている。人口が急減している地域の事業者で事業協同組合を設立し、組合員となった地域の事業者が、季節により繁忙時期が異なる仕事を組み合わせ、組合が地域の若者や地域外からの移住希望者等を正規組合職員として雇用するものです。市と国は、地域の人口流出の抑制に取り組んでいる特定地域づくり事業協同組合に対し、財政運営の支援を行うものです。対象地域については、松東、那谷校下を検討しているとのことです。

うまく制度を運用し、地域の若者や移住希望者等を雇用することで、人口急減、担い手不足等の抑制につながるよう、いろいろな施策も交えながら良い成功事例となるよう進めてほしいとの意見がありました。

特別委員会　調査報告

小松基地・空港対策特別委員会

■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点で小松基地における訓練計画はないとのことですが、訓練計画については、速やかに情報提供するよう求めました。

■航空自衛隊小松基地に関する令和6年度予算案の主要事業について

防衛省の令和6年度予算案では、小松基地として2個目のF－35A飛行隊分の8機の取得に係る経費約1,120億円を計上しており、小松基地には令和7年度に4機、令和8年度に8機、令和9年度に8機、令和10年度に8機のF－35A戦闘機を配備する予定とのことです。

主な施設整備として、F－35A操縦者訓練施設等の整備、F－15能力向上型受入施設の整備等に係る経費として約76億円を計上し、これらの事業を含め、小松基地における施設整備に係る経費は、全体で約122億円を計上しているとのことです。

令和7年度からF－35Aが配備予定とのことですが、F－35A配備により諸外国との訓練が増えることなどが予想されることを踏まえ、配備前の今から、基地関係の交付金や補助金の増額を防衛省に対して要望していくよう求める意見がありました。

■令和6年度空港・基地政策課事業の概要について

空港・基地政策課が所管する各種施策について説明があり、主なものは、羽田便を利用する首都圏からの旅行商品の造成などに対して支援を行うための小松空港協議会への負担金、騒音区域105町内で組織する小松飛行場周辺整備協議会への交付金、騒音区域内の個人住宅新築に対する助成などであります。

■航空プラザについて

2月末までの今年度来館者数は約18万人、昨年に比べ約8％増加とのことであり、年間を通じて親子で楽しめる催しを多数行っており、多くの方に参加いただき好評を得ているとのことです。

また、前政府専用機貴賓室の展示については、令和6年までの貸付期限とのことですが、大変貴重な資料であり、引き続き展示できるよう働きかけていくとのことです。

公共施設マネジメント検討特別委員会

■市営本江町住宅の跡地活用について

昭和46年建設の市営本江町住宅の現況と跡地活用について説明がありました。市営本江町住宅は築52年が経過し、一部で屋根瓦が落下するなど著しく老朽化が進んでおり、令和3年10月からは全18戸すべてが空き住戸となっている状況です。

今後の活用について、市営本江町住宅の立地は、幹線道路に近く交通アクセスが良いこと、近隣にこども園、小学校、大型商業施設や医療機関などがあり、また木場潟公園も近く子育て環境として良好なことから、既存住宅を解体し、子育て世帯向け市営戸建て賃貸住宅と分譲宅地を、民間の技術力やノウハウを活用したPFI手法の活用も検討し、整備していくとのことです。

PFI手法を活用した市営住宅等の整備は、これまでに川辺町や木曽町で実施しており、若い方の転居や子供の増加により、まちに活気ができ地元から大変喜ばれているとのことです。

3月定例会の議決結果

■全会一致で議決された議案

	議案名	議決結果
予算案（16件）	第３号　令和６年度小松市国民健康保険事業特別会計予算	可決
	第４号　令和６年度小松市介護保険事業特別会計予算	〃
	第５号　令和６年度小松市公債管理特別会計予算	〃
	第６号　令和６年度小松市産業団地事業特別会計予算	〃
	第８号　令和６年度小松市水道事業会計予算	〃
	第９号　令和６年度小松市下水道事業会計予算	〃
	第10号　令和６年度国民健康保険小松市民病院事業会計予算	〃
	第11号　令和５年度小松市一般会計補正予算（第10号）	〃
	第12号　令和５年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	〃
	第13号　令和５年度小松市介護保険事業特別会計補正予算（第３号）	〃
	第14号　令和５年度小松市公債管理特別会計補正予算（第２号）	〃
	第15号　令和５年度小松市産業団地事業特別会計補正予算（第２号）	〃
	第16号　令和５年度小松市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	〃
	第17号　令和５年度小松市水道事業会計補正予算（第４号）	〃
	第18号　令和５年度小松市下水道事業会計補正予算（第３号）	〃
	第19号　令和５年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算（第２号）	〃
条例案（14件）	第20号　小松市部設置条例の一部を改正する条例について	〃
	第21号　小松市公告式条例の一部を改正する条例について	〃
	第22号　小松市町界町名整理審議会条例の一部を改正する条例について	〃
	第23号　小松市会計年度任用職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について	〃
	第24号　小松市手数料条例の一部を改正する条例について	〃
	第25号　小松市犯罪被害者等支援条例について	〃
	第27号　小松市立老人福祉センター条例を廃止する条例について	〃
	第28号　小松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	〃
	第29号　小松市介護保険条例の一部を改正する条例について	〃
	第30号　小松市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第９条第１項に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例について	〃
	第31号　小松市漁港管理条例の一部を改正する条例について	〃
	第32号　小松市営住宅条例の一部を改正する条例について	〃
	第33号　小松市体育施設条例等の一部を改正する条例について	〃
	第34号　適用対象の消滅等による条例の廃止に関する条例について	〃
その他議案（8件）	第35号　財産の処分について	〃
	第36号　財産の処分について	〃
	第37号　財産の処分について	〃
	第38号　指定管理者の指定の変更について	〃
	第39号　辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	〃
	第40号　専決処分の承認を求めることについて	承認
	第41号　教育委員会教育長の任命について	同意
	第42号　固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
議員提出議案（5件）	第１号　小松市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決
	第２号　令和６年能登半島地震からの創造的復興に関する決議	〃
	第３号　令和６年能登半島地震の災害復興支援を求める意見書	〃
	第４号　保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書	〃
	第５号　災害救助法における福祉の位置付けの明確化を求める意見書	〃
その他案件（1件）	議員の派遣について（姉妹都市 ベルギー・ビルボールド市代表訪問団）	〃

■賛否が分かれた議案

○は賛成　×は反対　退は退席　欠は欠席

	議案名	会派自民										小松志士の会				自民党こまつ			無会派				議決結果
		灰田 昌典	表 靖二	高野 哲郎	吉本慎太郎	梅田 利和	南藤 陽一	岡山 晃宏	村中 洋	斎藤 和美	吉柴 文悟	宮西 健吉	中西 肇	濵口 淳也	木村 賢治	川崎 順次	吉村 範明	深田 博智	橋本 米子	片山瞬次郎	木下 裕介	東 浩一	
予算案（3件）	第１号　令和5年度小松市一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	第２号　令和6年度小松市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	第７号　令和6年度小松市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
条例案（1件）	第26号　小松市敬老金条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	継続審査
請願（1件）	第１号　老人福祉センター千松閣営業中止に伴う代替え施設設置の請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	採択

※新田寛之議長、東浩一副議長は小松市議会運営規約第４条に基づき、会派に所属していません。新田寛之議長は採決には加わりません。

議会の活動を紹介します

北陸新幹線 金沢ー敦賀間試乗会

開催日　令和6年2月4日(日)

総務委員会として試乗会に招かれ、小松駅から新幹線に乗車。この時期には珍しく、白山が透き通るほどに晴れ、試乗会に花が添えられました。新幹線の見どころは何よりも木場潟を望む美しい遠景。試乗会に参加された皆さんが身を乗り出してその絶景を楽しんでいました。心配されていた敦賀駅のサンダーバードへの乗換えに関しては委員からの不満の声もなく、開業が楽しみになる試乗会になりました。

校下女性協議会との意見交換会

開催日　令和6年2月4日(日)

第25回「議員さんと語る会」が小松市校下女性協議会主催で開催されました。副議長と新人議員3名が参加し、訪問看護の問題、高齢者の免許返納、そして能登半島地震からの女性目線での気づきについて、それぞれのテーマで意見交換が行われました。会員からは、今後の市政にとって重要な内容や面白いアイデアが提案され、活発な議論が繰り広げられました。参加者から寄せられた意見は、今後の市政に生かしていきたいと思います。

二大交通拠点をつなぐ自動運転バス

開催日　令和6年3月3日(日)

北陸新幹線小松駅と小松空港の間を結ぶ“レール&フライト”の北陸エリアの交通の結節点としての自動運転バスが路線バスとして通年運行開始となります。これまで議会でも多くの質問・議論がなされ、令和2年度からの実証実験を経て、プロジェクトの導入・運行に向けた推進体制が図られました。試乗して、小松市のまちづくりの展望と未来型交通システムの一端を体感しました。

令和6年度公立小松大学・大学院入学式

開催日　令和6年4月2日(火)

公立小松大学・大学院入学宣誓式が行われ、学科生249名、大学院生31名が新たな大学生活の一歩を踏み出しました。緊張している様子や期待に胸を膨らませている様子など学生の表情も様々でしたが、それぞれの目標に向かって勉学に励んで頂きたいのはもちろんの事、特に市外から入学した学生の皆さんには小松を第二の故郷と思って頂き、若いパワーで小松を元気に盛り上げて頂きたいと期待いたします。

行政視察報告

議会運営委員会

視察先　東京都
期　間　令和6年3月25日(月)～26日(火)
視察項目
【衆議院議員会館】通年議会、オンライン議会について
【府中市役所】議会運営について

6月 定例会のお知らせ

次の定例会は6月10日から6月27日までの18日間です。

6月10日(月)　10：00～
本会議　開会・市長説明

18日(火)～20日(木)　9：30～
本会議　一般質問

21日(金)　9：30～
委員会　各常任委員会(分科会)

24日(月)　9：30～
委員会　特別委員会

27日(木)　13：30～
本会議　委員長報告・採決・閉会

※詳細は議会ホームページをご覧ください。

小松市イメージキャラクター
カブッキー

小松市立高等学校　芸術コース美術専攻の皆さまありがとうございました

小松市立高等学校芸術コースの皆さまには、表紙掲載の絵画作品を、2019年8月(NO. 192)から計19回にわたりご提供いただきました。

小松大谷高等学校　写真部の皆さまよろしくお願いいたします

今年度からは、小松大谷高等学校写真部の皆さまに、素敵な写真で表紙を飾っていただくこととなりました。

議会だより編集委員会では、本誌をとおして、議員の活動や議会が市民の皆様に身近なものとなるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

議会だより編集委員会委員一同

小松市議会では、令和6年能登半島地震の災害義援金を全議員から募り、計72万円を能登5市7町へお届けいたしました。

読者の声をお寄せください

議会だよりをお読みいただいたご感想をお聞かせください。

右記QRコードを読み込んでいただき、「氏名」「連絡先」等必要事項を入力の上、お送りください。

サポートネット
専門家による無料相談会
日時●5月11日(土)・6月15日(土)・7月20日(土)
9時～11時30分
会場●小松商工会議所
問い合わせ先：担当　竹内　TEL 0761-22-9990

不動産鑑定士　澤矢　豊伸　TEL0761-21-1122
弁護士　杉本　昌之　TEL0761-24-3633
中小企業診断士 社会保険労務士　竹内　広幸　TEL0761-22-9990
司法書士 行政書士　田中　一生　TEL0761-48-7040
税理士 行政書士　谷口　勇一　TEL0761-76-5503
弁護士　中西　祐一　TEL076-256-5413
土地家屋調査士 行政書士　山崎　豊　TEL0761-20-3175

◆法律　◆人事・給与
◆債権回収　◆会社設立
◆多重債務　◆相続
◆完済過払　◆事業承継
◆税金　◆農地転用・開発行為
◆登記　◆事業計画
◆不動産評価　◆公的年金　等の

ご相談をお気軽に【秘密厳守】
私たちが相談に応じます。

〒923-8650　石川県小松市小馬出町91番地
TEL.0761-24-8138(直通) FAX.0761-23-3676